

2006 年度 総会資料

議案 1. 2005 年度事業報告

1. 会員数の動向 (2006. 3. 31 現在)

会員数合計	4131 (-47)
個人会員	3725 (-37)
通常会員	999(+174)
一般 A	555 (+95)
" B	244 (+19)
学生 A	106 (+52)
" B	27 (+10)
高年 A	56 (- 1)
" B	11 (- 1)
特別会員	2726 (-211)
一般 A	1955 (-120)
" B	494 (-45)
" C	23 (+ 1)
" D	1 (±0)
学生 A	163 (-42)
" B	37 (-13)
高年 A	50 (+ 8)
" B	3 (±0)
団体会員	359(- 6)
団体 A	109 (- 2)
" B	137 (- 7)
" C	113 (+ 3)
賛助会員	34(- 3)
名誉会員	13(- 1)

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 52 巻 4 号～53 巻 3 号 12 冊 (994 頁、昨年度より 56 頁増)、各号 4300 部印刷、電子ジャーナル版公開
- (2) 気象集誌 83 巻 2 号～84 巻 1 号、6 冊(1242 頁、昨年度より 140 頁減)、各号 1700～1500 部印刷、電子ジャーナル版公開。特別号 (83 巻 A 号、346 頁) 発行
- (3) 英文レター誌 SOLA、第 1～2 巻 228 頁

(4) 気象研究ノート

- ア 208 号 「メソ対流系」(2005 年 7 月)
386 頁、1700 部印刷
- イ 209 号 「先端質量分析技術による反応性大気化学組成の測定」(2005 年 9 月)
116 頁、1700 部印刷
- ウ 210 号 「2003 年 日本の冷夏」(2005 年 11 月)
199 頁、1700 部印刷
- エ 211 号 「スペクトルモデル入門」(2006 年 2 月)
175 頁、1700 部印刷

(5) 大会講演予稿集

- ア 春季大会 (87 号) 503 頁 1500 部印刷
- イ 秋季大会 (88 号) 489 頁 1500 部印刷

3. 会議等の開催

(1) 総会 2005 年 5 月 17 日 東京大学安田講堂

- (出席者 96 名、総会参加票 611 名)
- ア 2004 年度事業報告・決算報告、2005 年度事業計画・予算が承認された。
- イ 日本気象学会細則の一部改定が承認された。
- ウ 理事の辞任に伴う後任の推薦が承認された。
辞任：菊池 正 新任：松村崇行
 栗原弘一 宇平幸一
 中村和信 湯田憲一
 米谷恒春 中村誠臣
 山内 恭

(2) 理事会

- 第 33 期 (第 4 回) 2005 年 5 月 16 日、東京
- 第 33 期 (第 5 回) 2005 年 11 月 20 日、神戸
- 第 33 期 (第 6 回) 2006 年 3 月 8 日、東京

(3) 常任理事会

- 第 33 期 (第 9 回) 2005 年 4 月、東京
- 第 33 期 (第 10 回) 2005 年 5 月、東京 (東京大学)
- 第 33 期 (第 11～14 回) 2005 年 6～10 月、東京
- 第 33 期 (第 15 回) 2005 年 11 月、神戸
- 第 33 期 (第 16～19 回) 2005 年 12～2006 年 3 月、東京

- (4) 評議員会
第33期(第2回) 2006年3月8日
会場: KKR HOTEL TOKYO
—外部に対し開かれた学会活動のあり方—

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2005年5月15-18日
会場: 東京大学本郷キャンパス
(担当: 東京大学)
シンポジウム: 地球環境の進化と気候変動
(地球環境問題委員会との共催)
- (2) 秋季大会 2005年11月20-22日
会場: 神戸大学六甲台地区
(担当: 関西支部)
シンポジウム: 大規模観測プロジェクトは気象学
に何をもちたらずか
- (3) 研究連絡会
- ア 極域・寒冷域研究連絡会
東京 2005年5月18日
神戸 2005年11月22日
イ メソ気象研究連絡会(第25回)
神戸 2005年11月19日
ウ オゾン研究連絡会
神戸 2005年11月20日
エ 地球観測衛星研究連絡会(第2回)
神戸 2005年11月20日
オ 非静力学数値モデル研究連絡会(第7回)
東京 2005年10月5-6日
カ THORPEX 研究連絡会
神戸 2005年11月19日(第2回)
東京 2006年3月6日(第3回)
キ 天気予報研究連絡会(第3回)
東京 2006年2月17日
- (4) 月例会
- ア 第49回山の気象シンポジウム
東京 2005年6月18日
イ 長期予報と大気大循環
東京 2005年11月11日
- (5) 第17回夏の学校
群馬県草津町 2005年7月29-31日
- (6) 他学会との共催等

- ア 第42回アイソトープ・放射線研究発表会(共催)
2005年7月6-8日(東京)
- イ 第22回エアロゾル科学・技術研究討論会(共催)
2005年7月28-30日(大阪)
- ウ 人間—生活環境系国際会議(共催)
2005年9月12-15日(東京)
- エ 第55回理論応用力学講演会(共催)
2006年1月24-26日(京都)
- オ 第52回風に関するシンポジウム(共催、幹事)
2006年1月24日(東京)

5. 研究業績の表彰

- (1) 日本気象学会賞
鶴野伊津志 九州大学応用力学研究所
- (2) 藤原賞
倉嶋 厚 気象解説者、著述業
二宮 洸三 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター
- (3) 山本・正野論文賞
稲津 将 東京大学気候システム研究センター
茂木 耕作 海洋研究開発機構地球環境観測研究センター
- (4) 堀内賞
倉本 圭 北海道大学大学院理学研究科
青木 周司 東北大学大学院理学研究科
- (5) 奨励賞
関西気象予報士会「楽しいお天気講座」担当グループ(代表: 諫山安彦・寺野健治)
辻川 才太 名古屋地方気象台

6. 支部研究活動

- (1) 北海道支部
- ア 第1回研究発表会(札幌) 2005年6月3日
イ 第2回研究発表会(札幌) 2005年12月6日
- (2) 東北支部
- ア 気象研究会(仙台) 2005年11月30日
—気候変動・一般—
- (3) 中部支部
- ア 支部研究会(静岡市) 2005年11月29-30日
- (4) 関西支部
- ア 年会(大阪) 2005年6月11日

- イ 例会 (高松) 2005 年 12 月 2 日
- (広島) 2005 年 12 月 10 日
- (神戸) 2006 年 2 月 21 日
- ー海洋と気象ー

(5) 九州支部

- ア 支部発表会 (長崎) 2006 年 3 月 4 日

(6) 沖縄支部

- ア 第 34 回例会 (那覇) 2005 年 11 月 24-25 日

7. 普及活動

(1) 本部

- ア 第 39 回夏季大学、2005 年 8 月 5-7 日
気象庁講堂
「新しい気象学」ー台風・集中豪雨ー
- イ 気象技術講習会 (気象業務支援センターとの共催)
- (ア) 気象学の基礎 (第 11 回)
2005 年 2 月-4 月 (毎週水曜日)
- (イ) 気象学の基礎 (第 12 回)
2005 年 8 月-10 月 (毎週水曜日)
- (ウ) 気象学の基礎 (第 13 回)
2006 年 2 月-4 月 (毎週水曜日)
- (エ) 専攻課程講習会 (地震・津波・火山)
2006 年 2 月 16-17 日

(2) 北海道支部

- ア 第 23 回夏季大学 2005 年 7 月 26-27 日 (札幌)
- 第 1 日目 札幌市青少年科学館
- 第 2 日目 日本気象協会北海道支社
ー新しい気象ー
- イ 気象講演会 2005 年 10 月 8 日 (稚内市)
『宗谷地方の強風』
ー身を守る知恵と生かす知恵ー

(3) 東北支部

- ア 気象講演会 2005 年 11 月 13 日 (盛岡)
「銀河系、地球規模の視点から捉える岩手の気象」

(4) 中部支部

- ア 第 12 回公開気象講座 2005 年 8 月 26 日
(名古屋) ー地球環境のしくみを実験で理解するー

(5) 関西支部

- ア 第 27 回夏季大学 2005 年 8 月 4-5 日 (大阪)
ー台風ー

(6) 九州支部

- ア 気象教室 2005 年 8 月 27 日 (福岡)
ー夏の暑さについてー

(7) 沖縄支部

- ア 防災気象講演会 (那覇市) 2006 年 2 月 22 日
ーTSUNAMI から生き残るために、他ー
- イ 親と子のお天気教室 (浦添市) 2005 年 7 月 22 日
ー台風・地震・津波の知識を学ぼうー
- ウ 気候講演会 (那覇市) 2005 年 7 月 21 日
ー地球温暖化が沖縄の島々へ及ぼす影響ー

8. 国際学術交流活動

- (1) 国際シンポジウム「東アジアにおける大気科学」
(日本・韓国・中国気象学会共催)
2005 年 5 月 13-14 日、東京大学
- (2) アジアーオセアニア地球科学会第 2 回大会参加
2005 年 5 月 20-24 日、シンガポール
- (3) 国際学術研究集会参加補助 (4 名)
ア IAMAS 2005 (北京、2005 年 8 月)
高島 久洋 (京都大学)
古関 俊也 (北海道大学)
- イ 第 5 回ヨーロッパ気象学会総会
(ユトレヒト (オランダ)、2005 年 9 月)
風岡 亮 (京都大学)
- ウ AGU 2005 秋季大会
(サンフランシスコ、2005 年 12 月)
福田 真人 (東京大学)

9. 電子情報関連

- (1) 学会ホームページ管理運営
- (2) 学会メーリングリストの管理運営

10. その他

- (1) 日本地球惑星科学連合への参加
- (2) 地球環境科学関連学会協議会への参加
- (3) 大会受付のオンライン化

議案 2. 2005年度収支決算報告

2-1 総括表

収支計算書総括表

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【収入の部】				
会 費 収 入	36,032,529	36,032,529	0	
基 本 財 産 運 用	218,943	218,943	0	
事 業 収 入	42,603,919	25,053,042	17,550,877	
補 助 金 収 入	6,800,000	6,800,000	0	
引 当 預 金 取 崩 収 入	476,876	476,876	0	
雑 収 入	241,862	241,862	0	
繰 入 金 収 入	401,663	401,663	0	
当期収入合計(A)	86,775,792	69,224,915	17,550,877	
前 期 繰 越 収 支 差 額	14,027,548	9,270,353	4,757,195	
収入合計(B)	100,803,340	78,495,268	22,308,072	
【支出の部】				
事 業 費	59,544,622	50,908,098	8,636,524	
管 理 費	27,234,964	20,372,919	6,862,045	
法 人 税 等	70,000	0	70,000	
繰 入 金 支 出	401,663	0	401,663	
当期支出合計(C)	87,251,249	71,281,017	15,970,232	
当期収支差額(A)-(C)	△ 475,457	△ 2,056,102	1,580,645	
次期繰越収支差額(B)-(C)	13,552,091	7,214,251	6,337,840	

貸借対照表総括表

2006年 3月31日現在

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【資産の部】				
流動資産	34,619,481	24,888,337	9,731,144	
固定資産				
基本財産	53,790,000	53,790,000	0	
その他の固定資産	10,803,837	10,803,837	0	
固定資産合計	64,593,837	64,593,837	0	
資産合計	99,213,318	89,482,174	9,731,144	
【負債の部】				
流動負債	27,565,106	27,565,106	0	
固定負債	162,335	162,335	0	
負債合計	27,727,441	27,727,441	0	
【正味財産の部】				
正味財産	71,485,877	61,754,733	9,731,144	
負債及び正味財産合計	99,213,318	89,482,174	9,731,144	

正味財産増減計算書総括表

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【増加の部】				
資産増加額	798,515	109,902	688,613	
負債減少額	477,038	477,038	0	
増加額合計	1,275,553	586,940	688,613	
【減少の部】				
資産減少額	1,327,033	2,907,678	△ 1,580,645	
負債増加額	105	105	0	
減少額合計	1,327,138	2,907,783	△ 1,580,645	
当期正味財産減少額	51,585	2,320,843	△ 2,269,258	
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	71,537,462	64,075,576	7,461,886	
期末正味財産合計額	71,485,877	61,754,733	9,731,144	

財産目録総括表
2006年 3月31日現在

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【資産の部】				
流動資産				
現金 預 金	31,226,177	24,888,337	6,337,840	
現金 現金手許有高	216,040	0	216,040	
普 通 預 金	14,548,735	10,585,818	3,962,917	
みずほ銀行 丸之内支店	14,272,094	10,309,177	3,962,917	
中央三井信託銀行 本店営業部	2,963	2,963	0	
UFJ銀行 東京営業部	127,432	127,432	0	
住友信託銀行 東京営業部	146,246	146,246	0	
郵便 振 替 貯 金	16,461,402	14,302,519	2,158,883	
中央郵便局	16,461,402	14,302,519	2,158,883	
棚 卸 資 産	3,393,304	0	3,393,304	
流動資産合計	34,619,481	24,888,337	9,731,144	
固定資産				
基本財産				
貸 付 信 託 預 金	12,370,000	12,370,000	0	
中央三井信託①(藤原賞)	1,920,000	1,920,000	0	
住友信託銀行①(基本金)	1,750,000	1,750,000	0	
住友信託銀行②(山本・正野論文賞)	6,500,000	6,500,000	0	
住友信託銀行③(堀内賞)	600,000	600,000	0	
住友信託銀行④(藤原賞)	1,600,000	1,600,000	0	
公 社 債 信 託	15,070,000	15,070,000	0	
大和証券(国際学術交流基金)	9,420,000	9,420,000	0	
日興コデイツ証券(堀内賞)	5,650,000	5,650,000	0	
国 債	26,350,000	26,350,000	0	
野村証券(国際学術交流基金)	16,350,000	16,350,000	0	
住友信託銀行(基本金)	10,000,000	10,000,000	0	
基本財産合計	53,790,000	53,790,000	0	
その他の固定資産				
普 通 預 金 ②(退職引当預金)	162,335	162,335	0	
中央三井信託②	162,335	162,335	0	
地 方 債 券	10,000,000	10,000,000	0	
日興コデイツ証券(125周年積立金)	10,000,000	10,000,000	0	
什 器 備 品	641,502	641,502	0	
その他の固定資産合計	10,803,837	10,803,837	0	
固定資産合計	64,593,837	64,593,837	0	
資産合計	99,213,318	89,482,174	9,731,144	
【負債の部】				
流動負債				
通 常 会 員 前 受 会 費	7,461,670	7,461,670	0	
一般A	3,650,520	3,650,520	0	
一般B	2,923,200	2,923,200	0	
学生A	381,150	381,150	0	
学生B	194,400	194,400	0	
高年A	223,300	223,300	0	
高年B	89,100	89,100	0	
特 別 会 員 前 受 会 費	19,434,421	19,434,421	0	
一般A	12,379,225	12,379,225	0	
一般B	5,836,820	5,836,820	0	
学生A	549,850	549,850	0	
学生B	226,800	226,800	0	
高年A	214,200	214,200	0	
高年B	24,300	24,300	0	
一般C	203,226	203,226	0	
預 り 金	669,015	669,015	0	
藤田資金	430,120	430,120	0	
その他預り金	238,895	238,895	0	
流動負債合計	27,565,106	27,565,106	0	
固定負債				
退 職 金 引 当 金	162,335	162,335	0	
固定負債合計	162,335	162,335	0	
負債合計	27,727,441	27,727,441	0	
正味財産	71,485,877	61,754,733	9,731,144	

2-2 収支計算書

収 支 計 算 書

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会
公益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
【収入の部】				
会 費 収 入	[35,490,000]	[36,032,529]	[△ 542,529]	
通 常 会 員 会 費	6,360,000	7,051,570	△ 691,570	
特 別 会 員 会 費	22,020,000	21,775,653	△ 244,347	
団 体 会 員 会 費	4,600,000	4,681,251	△ 81,251	
賛 助 会 員 会 費	2,510,000	2,524,055	△ 14,055	
基 本 財 産 運 用	[70,000]	[218,943]	[△ 148,943]	
基 本 金	20,000	101,204	△ 81,204	
藤 本 原 賞	2,000	7,918	△ 5,918	
山 本 ・ 正 野 論 文 賞	16,000	77,144	△ 61,144	
堀 内 賞	2,000	11,179	△ 9,179	
国 際 交 流 基 金	30,000	21,498	△ 8,502	
事 業 収 入	[28,850,000]	[25,053,042]	[3,796,958]	
天 氣 集 誌	1,030,000	1,446,410	△ 416,410	
天 氣 S O L A	12,160,000	9,068,382	△ 3,091,618	
予 稿 集	4,800,000	3,276,000	△ 1,524,000	
大 会 開 催	6,020,000	5,929,150	△ 90,850	
教 育 と 普 及	4,170,000	4,306,000	△ 136,000	
そ の 他 事 業 収 入	640,000	989,500	△ 349,500	
補 助 金 収 入	30,000	37,600	△ 7,600	
科 学 研 究 費	[4,900,000]	[6,800,000]	[△ 1,900,000]	
寄 付 金 収 入	4,900,000	6,800,000	△ 1,900,000	
寄 付 金	[30,000]	[0]	[30,000]	
引 当 預 金 取 崩 収 入	30,000	0	△ 30,000	
退 職 引 当 預 金 取 崩 収 入	[0]	[476,876]	[△ 476,876]	
雑 収 入	0	476,876	△ 476,876	
受 取 利 息	[242,000]	[241,862]	[138]	
著 作 権 複 写 許 可 料	2,000	30,008	△ 28,008	
そ の 他	100,000	198,420	△ 98,420	
繰 入 金 収 入	140,000	13,434	△ 126,566	
繰 入 金 収 入	[0]	[401,663]	[△ 401,663]	
収 益 会 計 よ り 繰 入 金 収 入	0	401,663	△ 401,663	
当期収入合計(A)	69,582,000	69,224,915	△ 357,085	
前 期 繰 越 収 支 差 額	9,270,353	9,270,353	0	
収 入 合 計 (B)	78,852,353	78,495,268	△ 357,085	
【支出の部】				
事 業 費	[53,200,000]	[50,908,098]	[2,291,902]	
天 氣 集 誌	19,880,000	20,476,950	△ 596,950	
天 氣 S O L A	18,680,000	16,820,433	△ 1,859,567	
予 稿 集	4,800,000	3,276,600	△ 1,523,400	
大 会 開 催	1,790,000	1,732,372	△ 57,628	
教 育 と 普 及	4,500,000	4,857,725	△ 357,725	
表 彰 ・ 奨 励	570,000	864,940	△ 294,940	
国 際 学 術 交 流 会	1,120,000	1,599,397	△ 479,397	
そ の 他 委 員 会	540,000	800,725	△ 260,725	
研 究 連 絡 会	360,000	383,788	△ 23,788	
そ の 他 事 業 費	410,000	59,725	△ 350,275	
管 理 費	550,000	35,443	△ 514,557	
人 件 費	[18,130,000]	[20,372,919]	[△ 2,242,919]	
退 職 金	9,240,000	9,889,260	△ 649,260	
	0	972,300	△ 972,300	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
事 務 局 関 連 経 費	3,315,000	3,818,397	△ 503,397	
電 子 情 報	10,000	15,435	△ 5,435	
電 算 機 開 発 管 理 会	870,000	910,180	△ 40,180	
総 会 役 員	1,590,000	1,599,375	△ 9,375	
選 挙 費 用	188,000	163,326	24,674	
支 部 交 付 金	2,557,000	2,684,700	△ 127,700	
租 税 公 課	360,000	319,946	40,054	
引 当 金 繰 入	[800,000]	[0]	[800,000]	
退 職 引 当 金	800,000	0	800,000	
予 備 費	[170,000]	[]	[170,000]	
当期支出合計(C)	72,300,000	71,281,017	1,018,983	
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,718,000	△ 2,056,102	△ 661,898	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,552,353	7,214,251	△ 661,898	

収 支 計 算 書

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会
収益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
【収入の部】				
事 業 収 入	[17,440,000]	[17,550,877]	[△ 110,877]	
天 気 集 誌	3,220,000	3,134,562	85,438	
気 象 研 究 ノ 一 ト	2,090,000	1,359,240	730,760	
予 稿 集	8,580,000	9,721,395	△ 1,141,395	
書 店 扱 い	500,000	405,000	95,000	
雑 収 入	3,050,000	2,930,680	119,320	
著 作 権 複 写 許 可 料	[20,000]	[0]	[20,000]	
当期収入合計(A)	20,000	0	20,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	17,460,000	17,550,877	△ 90,877	
収 入 合 計(B)	4,757,195	4,757,195	0	
	22,217,195	22,308,072	△ 90,877	
【支出の部】				
事 業 費	[7,360,000]	[8,636,524]	[△ 1,276,524]	
天 気 集 誌	1,400,000	1,825,074	△ 425,074	
気 象 研 究 ノ 一 ト	1,200,000	1,009,196	190,804	
予 稿 集	4,740,000	5,781,854	△ 1,041,854	
管 理 費	20,000	20,400	△ 400	
人 件 費	[6,182,000]	[6,862,045]	[△ 680,045]	
退 職 金	3,080,000	3,296,420	△ 216,420	
事 務 局 関 連 経 費	0	324,100	△ 324,100	
電 子 情 報	1,105,000	1,272,866	△ 167,866	
電 算 機 開 発 管 理 会	3,000	5,145	△ 2,145	
総 会 役 員	290,000	303,393	△ 13,393	
選 挙 費 用	530,000	533,125	△ 3,125	
支 部 交 付 金	62,000	54,442	7,558	
租 税 公 課	852,000	894,900	△ 42,900	
法 人 税 等	260,000	177,654	82,346	
繰 入 金 支 出	[1,150,000]	[70,000]	[1,080,000]	
公 益 会 計 へ 繰 入 金 支 出	[0]	[401,663]	[△ 401,663]	
予 備 費	0	401,663	△ 401,663	
当期支出合計(C)	[50,000]	[]	[50,000]	
当期収支差額(A)-(C)	14,742,000	15,970,232	△ 1,228,232	
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,718,000	1,580,645	1,137,355	
	7,475,195	6,337,840	1,137,355	

2-3 貸借対照表

貸借対照表

2006年 3月31日現在

(社)日本気象学会

公益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現 金 預 金	24,888,337	
流動資産合計		24,888,337
固定資産		
基本財産		
貸付信託預金	12,370,000	
公社債信託	15,070,000	
国債	26,350,000	
基本財産合計	53,790,000	
その他の固定資産		
普通預金②(退職引当預金)	162,335	
地方債券	10,000,000	
什器備品	641,502	
その他の固定資産合計	10,803,837	
固定資産合計		64,593,837
資産合計		89,482,174
【負債の部】		
流動負債		
通常会員前受会費	7,461,670	
特別会員前受会費	19,434,421	
預り金	669,015	
流動負債合計		27,565,106
固定負債		
退職金引当金	162,335	
固定負債合計		162,335
負債合計		27,727,441
【正味財産の部】		
正味財産		61,754,733
(うち基本金)		(53,790,000)
(うち当期正味財産減少額)		(2,320,843)
負債及び正味財産合計		89,482,174

貸借対照表

2006年 3月31日現在

(社)日本気象学会

収益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現 金 預 金	6,337,840	
棚卸資産	3,393,304	
流動資産合計		9,731,144
資産合計		9,731,144
【正味財産の部】		
正味財産		9,731,144
(うち当期正味財産増加額)		(2,269,258)
負債及び正味財産合計		9,731,144

2-4 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会
公益会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
基本金増加額	109,797		
退職引当預金増加額	105	109,902	
負債減少額			
退職引当金取崩額	477,038	477,038	
増加額合計			586,940
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	2,056,102		
基本金減少額	190,000		
退職預金取崩額	476,876		
什器備品減少額	184,700	2,907,678	
負債増加額			
退職引当金繰入額	105	105	
減少額合計			2,907,783
当期正味財産減少額			2,320,843
前期繰越正味財産額			64,075,576
期末正味財産合計額			61,754,733

正味財産増減計算書

2005年 4月 1日から2006年 3月31日まで

(社)日本気象学会
収益会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	1,580,645		
棚卸資産増加額	688,613	2,269,258	
負債減少額			
増加額合計			2,269,258
【減少の部】			
資産減少額			
負債増加額			
減少額合計			0
当期正味財産増加額			2,269,258
前期繰越正味財産額			7,461,886
期末正味財産合計額			9,731,144

2-5 財産目録

財産目録

2006年 3月31日現在

(社)日本気象学会
公益会計

(単位:円)

科 目	金	額
【資産の部】		
流動資産		
現 金 預 金	24,888,337	
普 通 預 金	10,585,818	
みずほ銀行 丸之内支店	10,309,177	
中央三井信託銀行 本店営業部	2,963	
UFJ銀行 東京営業部	127,432	
住友信託銀行 東京営業部	146,246	
郵 便 振 替 貯 金	14,302,519	
中央郵便局	14,302,519	
流動資産合計		24,888,337
固定資産		
基本財産		
貸 付 信 託 預 金	12,370,000	
中央三井信託①(藤原賞)	1,920,000	
住友信託銀行①(基本金)	1,750,000	
住友信託銀行②(山本・正野論文賞)	6,500,000	
住友信託銀行③(堀内賞)	600,000	
住友信託銀行④(藤原賞)	1,600,000	
公 社 債 信 託	15,070,000	
大和証券(国際学術交流基金)	9,420,000	
日興コ・デ・ィル証券(堀内賞)	5,650,000	
国 債	26,350,000	
野村証券(国際学術交流基金)	16,350,000	
住友信託銀行(基本金)	10,000,000	
基本財産合計		53,790,000
その他の固定資産		
普 通 預 金 ②(退職引当預金)	162,335	
中央三井信託②	162,335	
地 方 債 券	10,000,000	
日興コ・デ・ィル証券(125周年積立金)	10,000,000	
什 器 備 品	641,502	
その他の固定資産合計		10,803,837
固定資産合計		64,593,837
資産合計		89,482,174
【負債の部】		
流動負債		
通 常 会 員 前 受 会 費	7,461,670	
一般A	3,650,520	
一般B	2,923,200	
学生A	381,150	
学生B	194,400	
高年A	223,300	
高年B	89,100	
特 別 会 員 前 受 会 費	19,434,421	
一般A	12,379,225	
一般B	5,836,820	
学生A	549,850	
学生B	226,800	
高年A	214,200	
高年B	24,300	

科 目	金 額		
一般C	203,226		
預 金	669,015		
藤田資金	430,120		
その他預り金	238,895		
流動負債合計		27,565,106	
固定負債			
退職金引当金	162,335		
固定負債合計		162,335	
負債合計			27,727,441
正味財産			61,754,733

財産目録

2006年 3月31日現在

(社)日本気象学会

収益会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金 預金	6,337,840		
現金 現金手許有高	216,040		
普通預金	3,962,917		
みずほ銀行 丸之内支店	3,962,917		
郵便振替貯金	2,158,883		
中央郵便局	2,158,883		
棚卸資産	3,393,304		
流動資産合計		9,731,144	
資産合計			9,731,144
正味財産			9,731,144

2-6 計算書類に対する注記

(1)重要な会計方針

- 1)有価証券の評価基準及び評価方法・・・総平均法による原価基準を採用している。
- 2)固定資産の減価償却・・・什器備品は定率法による減価償却を実施している。
- 3)引当金の計上基準・・・退職給与引当金は期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4)資金の範囲・・・現金預金、預かり金及び前受け金を含めることとしている。

(2)次期繰越額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	¥216,040	¥0	¥216,040
普通預金	¥14,548,735	¥10,585,818	¥3,962,917
郵便振替貯金	¥16,461,402	¥14,302,519	¥2,158,883
125周年積立金	¥10,000,000	¥10,000,000	¥0
合計	¥41,226,177	¥34,888,337	¥6,337,840
前受会費	¥26,896,091	¥26,896,091	¥0
預り金	¥669,015	¥669,015	¥0
退職引当預金	¥162,335	¥162,335	¥0
会計収支繰越額	¥13,552,091	¥7,214,251	¥6,337,840

(3)基本財産の増減及びその残高は次の通りである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	¥0	¥0	¥11,750,000
藤原賞	¥0	¥0	¥3,520,000
山本・正野論文賞	¥0	¥0	¥6,500,000
国際学術交流基金	¥0	¥0	¥25,960,000
堀内賞	¥0	¥0	¥6,250,000
合計	¥0	¥0	¥53,980,000

(4)固定資産の原価償却額及び当期末残高は次の通りである。

科目	前期末残高	減価償却額	当期末残高
什器備品	¥833,959	¥192,457	¥641,502

議案 3. 監査報告書

2005 年度社団法人日本気象学会監査報告

2005 年度社団法人日本気象学会財産及び業務執行の監査結果を次の通り報告する。

1. 監査月日
2006 年 4 月 5 日 (水)
2. 監査場所
東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内
日本気象学会事務局
3. 監査帳簿
 - (1) 2005 年度収支計算書
 - (2) 財産目録総括表
 - (3) 普通預金明細表
 - (4) 郵便振替受払通知票
 - (5) 領収書類
 - (6) 預金証書・通帳、債権証書、現金
 - (7) 気象研究ノート棚卸調
 - (8) 備品台帳
 - (9) 仕訳帳
 - (10) 参考資料
4. 監査内容
 - (1) 2005 年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。
 - (2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。
 - (3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

5. 監査意見

2005 年度 (2005 年 4 月 1 日から 2006 年 3 月 31 日まで) の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

2005 年度の収支は、公益事業が約 206 万円の赤字、収益事業は約 158 万円の黒字になり、差し引き当期収支差額は約 48 万円の赤字であった。当期総支出は約 8725 万円であり、会計規模からはほぼ収支が均衡した状態であると言える。2002 年度から 2004 年度まで 3 期連続 200 万円前後の赤字が続いていた状態からは、収支状況が改善しているが、2005 年度は、気象研究ノートの発行号数が多かったこと、秋季大

会開催の会場経費が少なかったこと、などの単年度特殊要因が当期収支改善の要因となった面もあり、収支状況の健全性については引き続き注意していく必要がある。

会員数については、1999 年度以降減少傾向が続いており、この一年間については、個人会員は 37 名、団体会員は 6 件の減少となった。会員減の実数はここ数年では少ない方であるが、会員減少傾向に確実に歯止めがかかったとは言えない状況にある。これと共に、会費収入も、2000 年度の 4,115 万円から 2005 年度は 3,603 万円に減少している。より多くの方々に学会に参加頂くために、気象予報士会に対する気象学会からの働きかけや教育普及活動の推進などの努力を引き続き継続させていくことが重要である。


国際学術交流事業は、2003 年度まで予算の執行率が低い状況が続いたが、2005 年度は若手会員の国際学術研究集会参加補助や、日韓中の気象学会共催による第 1 回東アジア気象学会合同国際シンポジウム開催への補助の支出で、54 万円の予算に対し約 80 万円の支出となった。国際交流活動の発展を反映したものとして受け止めたい。

2006 年度春季大会からは、大会運営の一部が民間業者に委託され、オンラインによる講演申し込みが可能になるとともに、大会参加費改定が行われる。このような変更が定期大会のあり方や収支状況にどのような影響を与えるか注目したい。

この 1 年間、様々な学会活動に熱心に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局の努力に敬意を表する。

2006 年 4 月 5 日

監事

齊藤和雄 

監事

高野功 

議案 4. 日本気象学会第34期役員選任について

4-1 役員候補者選挙において当選した役員候補者

(記載は選挙名簿順、所属は立候補時の所属を示す)

- (1) 全国区・理事 (定数9名)
- | | |
|--------|--------------------|
| 津田 敏隆 | 京都大学生存圏研究所教授 |
| 林田 佐智子 | 奈良女子大学理学部教授 |
| 宮原 三郎 | 九州大学大学院理学研究院教授 |
| 中澤 高清 | 東北大学大学院理学研究科教授 |
| 新野 宏 | 東京大学海洋研究所教授 |
| 余田 成男 | 京都大学大学院理学研究科教授 |
| 藤谷 徳之助 | 気象庁気象研究所長 |
| 近藤 豊 | 東京大学先端科学技術研究センター教授 |
| 木田 秀次 | 京都大学大学院理学研究科教授 |
- (2) 地方区・理事 (定数13名)
- [北海道地区] (定数2名)
- | | |
|-------|---------------------|
| 山崎 孝治 | 北海道大学大学院地球環境科学研究院教授 |
| 松村 崇行 | 札幌管区気象台技術部予報課長 |
- [東北地区] (定数2名)
- | | |
|-------|----------------|
| 宇平 幸一 | 仙台管区気象台技術部長 |
| 岩崎 俊樹 | 東北大学大学院理学研究科教授 |
- [関東地区] (定数2名)
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 藤部 文昭 | 気象庁気象研究所予報研究部第3研究室長 |
| 近藤 裕昭 | 独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員
(研究グループ長) |
- [中部地区] (定数2名)
- | | |
|-------|--------------------|
| 湯田 憲一 | 名古屋地方気象台長 |
| 中村 健治 | 名古屋大学地球水循環研究センター教授 |
- [関西地区] (定数2名)
- | | |
|-------|-------------------------|
| 里村 雄彦 | 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻助教授 |
| 藤村 弘志 | 大阪管区気象台技術部長 |
- [九州地区] (定数2名)
- | | |
|-------|----------------|
| 高野 清治 | 福岡管区気象台技術部長 |
| 伊藤 久徳 | 九州大学大学院理学研究院教授 |
- [沖縄地区] (定数1名)
- | | |
|-------|-----------|
| 久木 幸治 | 琉球大学理学部教授 |
|-------|-----------|
- (3) 全国区・監事 (定数2名)
- | | |
|-------|------------------------|
| 北川 裕人 | 気庁予報部数値予報課予報官 |
| 高野 功 | 気象庁予報部予報課大気汚染気象センター予報官 |

4-2 理事候補者選挙当選者からの推薦による理事候補者

(1) 全国区・理事

古川武彦 気象コンパス代表 (1940年5月22日生)

推薦理由：来年は、本学会の125周年という節目の年に当たりますが、それを記念する事業を学会では開始していません。その中でも特に古川会員は、企画と実行に関する中心的役割を担っています。そのような重要な任務を引き続き、理事として古川会員に担当して頂くことが望ましい。また、古川会員は教育と普及委員会を担当し、気象学と一般市民の間をつなぐ新企画を検討中であり、その実施に向けた取り組みが必要になってきた時機であり、古川会員の存在には期待されるところが大きい。また、古川会員は、山岳波をはじめとするメソスケール気象学の研究者であると同時に、気象庁においては気象予報業務の経験も豊富である。そうした能力と実行力を本学会の活動に生かしてもらえよう、古川武彦会員を理事として推薦する。

田中 博 筑波大学計算科学研究センター教授 (1957年12月22日生)

推薦理由：田中会員は、ブロッキングや北極振動など中長期の大規模運動の実態とメカニズムの理解に一貫して取り組み、優れた研究成果を挙げてきた。これらの現象は異常天候とも密接に関わっているため、そのメカニズムの理解は気象学的に重要な課題であるだけでなく、社会的にも大きな影響を与え、今後ますます重要性を増してくると考えられる。

田中会員は第31期・32期には気象集誌編集委員長として電子ジャーナル化等を実現するなど気象集誌の発展に尽力された。また、第33期からは新たに創刊を決めた電子レター誌SOIAの編集委員長として、SOIAの立ち上げに努力された。創刊からようやく1年半を経た同誌の発行を軌道に乗せるためには、気象学に深い見識を有し、SOIA運営のすべてを熟知した田中博会員に引き続きご尽力をお願いしたく、理事として推薦する。

中島 映至 東京大学気候システム研究センター教授 (1950年8月13日生)

推薦理由：大気中の放射過程は気象学の最も基本的な研究課題であるが、中島会員はその研究分野のリーダーの一人である。特に、最近では、放射過程を利用した大気中エアロゾルの地球規模観測に顕著な研究成果を上げており、気候の研究における大気中物質の効果を評価する上でも貴重な研究基盤を提供している。特に地球温暖化の研究の深化が必要な現在、中島会員の気象・気候研究に占める役割は大きい。

また、中島会員は、国際気象学・大気科学協会(IAMAS)の下の国際大気委員会(IRC)の幹部役員として国際的に重要な任務を果たしており、日本気象学会の国際連携の一環を担う研究者である。本学会のため広い範囲で指導的活躍をして頂きたい中島映至会員を理事として推薦する。

多田英夫 気象庁予報部予報課予報官(1963年10月13日生)

推薦理由：多田会員は、気象庁数値予報課でデータ同化に関する仕事に携わり、3年前から予報課に移って現場の予報作業を支援するシステムの開発を行ってきた。その傍ら、最近の2年間は第33期理事として庶務を担当し、学会運営に献身的に関わっている。第34期も、数値予報・予報作業などに関する知識や学会実務の経験を生かし、学会活動に大きく貢献することが期待される。よって、多田英夫会員を第34期理事候補として推薦する。

板東恭子 気象庁観測部国土課情報管理室調査官(1961年9月11日生)

推薦理由：板東会員は、気象庁観測部に勤務し、地上気象をはじめ各種の気象観測に関し幅広い知識を有している。今年3月までの7年間は気象庁総務部に所属し、気象庁と社会の接点に関わる業務に携わってきた。また、「天気」編集委員を7期にわたって努めた後、最近の2年間は第33期理事として会計を担当し、学会の運営に献身的に関わっている。第34期も、気象観測・気象業務に関する知識や学会実務の経験を生かし、学会活動に大きく貢献することが期待される。よって、板東恭子会員を第34期理事候補として推薦する。

4-3 理事候補者の辞任に伴う追加推薦について

日本気象学会第34期の理事候補者から理事を辞任したいとの希望が理事長に対して提出され、日本気象学会定款21条の

規定に従ってこれを承認しました。また後任の理事候補としては、日本気象学会細則第36条第11項の規定により、理事会の議を経て、各所属支部から推薦があった会員を理事長から推薦することいたしました。総会で議決していただくようお願いいたします。

なお、今回辞任された理事候補者と、後任理事候補者は以下の通りです。

辞任理事候補者：藤村 弘志 (関西地区選出)

後任理事候補者：限 健一 (関西地区)

候補者：限 健一 大阪管区気象台技術部長 (1959年1月25日生)

推薦理由：限会員は、気象庁電子計算室・数値予報課において、全球数値予報モデルの開発や台風進路予報の改善に携わってきた。その間の2年間はフロリダ州立大学気象学部において研究活動を行い、その成果をもとに台風進路予報の精度改善に取り組むなど、気象庁の数値予報、台風予報の開発・改善に中心的役割を果たしてきた。また最近数年間は、気象庁予報部業務課の調査官・課長補佐として、防災気象情報の改善に関して企画段階から指導的役割を果たしてきた。中でも、気象台が都道府県砂防局と共同して発表する防災気象情報に関して、国土交通省関係部局や消防庁などとの調整等に精力的に取り組む、その実用化を進めてきた。限会員は、これらを通じて培われた豊富な知識・経験と数値モデルに関する専門的知見を活かし、気象学会の活動に貢献することが期待される。以上のことから、限健一会員を理事として推薦する。

議案 5. 2006 年度事業計画 (案)

従来の事業に加え、2007 年度の学会創立 125 周年記念行事の実施のために、「実行委員会」を立ち上げ記念事業の具体的な作業を行う。

1. 機関誌等の刊行

- (1) 天 気：53 巻 4 号～54 巻 3 号
- (2) 気象集誌：84 巻 2 号～85 巻 1 号
- (3) 英文レター誌 SOLA：第 2～3 巻
- (4) 気象研究ノート：212 号～214 号
- (5) 大会講演予稿集：
 - 春季大会 89 号、秋季大会 90 号
- (6) 電子ジャーナル版：天気、気象集誌
- (7) 天気、気象集誌のアーカイブ事業の推進

2. 会議等の開催

- (1) 通常総会 2006 年度総会 (5 月 23 日)
- (2) 理事会 3 回 (5 月、10 月、3 月)
- (3) 常任理事会 11 回
- (4) 評議員会 1 回 (3 月)
- (5) 監事会 1 回 (4 月)

3. 各委員会等の活動

- (1) 天気編集委員会
- (2) 気象集誌編集委員会
- (3) SOLA 編集委員会
- (4) 気象研究ノート編集委員会
- (5) 総合計画委員会
- (6) 講演企画委員会
- (7) 教育と普及委員会
- (8) 学会賞候補者推薦委員会等
- (9) 国際学術交流委員会
- (10) 電子情報委員会
- (11) 用語検討委員会
- (12) 地球環境問題委員会
- (13) 名誉会員推薦委員会
- (14) 125 周年記念行事実行委員会

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会
 - 期日：2006 年 5 月 21 (日)～24 日 (水)
 - 会場：つくば国際会議場 (担当：気象研究所)

シンポジウム、5 月 21 日 (日)

題名：異常気象に挑む一極端な降水現象
の理解と予測を目指して一

(2) 秋季大会

期日：2006 年 10 月 25 (水)～27 日 (金)

会場：ウィルあいち (名古屋市)

(担当：中部支部)

シンポジウム日程：未定

題名：未定

(3) 研究連絡会

ア メソ気象研究連絡会

イ オゾン研究連絡会

ウ 大気海洋陸面相互作用研究連絡会

エ IGBP/GAIM 研究連絡会

オ 極域・寒冷域研究連絡会

カ 気象教育研究連絡会

キ 非静力学数値モデル研究連絡会

ク 地球観測衛星研究連絡会

ケ 天気予報研究連絡会

コ THORPEX 研究連絡会

サ 航空気象研究連絡会

シ 陸域相互作用システム研究連絡会

(4) 月例会

ア 山の気象シンポジウム

イ 長期予報と大気大循環

ウ レーダー気象

(5) 気象若手会「夏の学校」支援

5. 研究業績の表彰

(1) 日本気象学会賞

(2) 藤原賞

(3) 山本・正野論文賞

(4) 堀内賞

(5) 奨励賞

6. 支部研究活動

(1) 北海道支部

1 回目：2006 年 6 月予定 (札幌)

2 回目：2006 年 12 月上旬予定 (札幌)

(2) 東北支部

期日等：2006 年 11 月 (仙台) 予定

(3) 中部支部 (第 22 回研究会)

- 期日等：未定
- (4) 関西支部
 期日等：年会 2006 年 6 月（大阪）予定
 期日等：例会 2006 年 11 月（岡山）予定
 期日等：例会 2006 年 11 月（高松）予定
 期日等：例会 2007 年 2 月（神戸）予定
- (5) 九州支部
 期日：2007 年春の予定
- (6) 沖縄支部（第 35 回例会）
 期日等：未定
7. 普及活動
- (1) 本部
 ア 第 40 回夏季大学
 期日：2006 年 8 月 5-6 日
 題目：気象数値シミュレーションとその応用
 イ 気象技術講習会（共催）
 期日：未定
 題目：未定
- (2) 北海道支部
 ア 第 24 回夏季大学
 期日：2006 年 7 月予定
 題目：新しい気象
 イ 気象講演会
 期日：未定
 題目：未定
- (3) 東北支部
 気象講演会
 期日：2006 年 11 月 10 日（金）
 場所：山形市「遊学館」
 題目：「雪氷に見る気候変動とそこに生きる知恵」
- (4) 中部支部
 第 12 回公開気象講座
 期日：2006 年 8 月予定
 題目：未定
- (5) 関西支部
 第 28 回夏季大学
 期日：2006 年 7 月上旬～8 月上旬の 2 日間
 題目：未定
- (6) 九州支部
- 気象教室
 期日：2006 年夏の予定
 題目：未定
- (7) 沖縄支部
 ア 防災気象講演会
 期日：未定
 題目：未定
 イ 親と子のお天気教室
 期日：未定
 題目：未定
8. 対外活動（他学会との共催等）
- (1) 第 42 回アイソトープ・放射線研究発表会
 (2) 第 23 回エアロゾル科学・技術研究討論会
 (3) 第 56 回理論応用力学講演会
 (4) 第 53 回風に関するシンポジウム
9. 国際学術交流活動
- (1) 日本・中国・韓国気象学会共催による第 2 回国際シンポジウムの開催（2006 年 10 月、ソウル）
 (2) アジア・オセアニア地球科学会第 3 回大会参加（2006 年、シンガポール）
 (3) 国際交流事業への支援・補助
10. 電子情報関連
- (1) 学会ホームページ管理運営
 (2) 学会メーリングリストの管理運営
11. その他
- (1) 日本地球惑星科学連合参加
 (2) 地球環境科学関連学会協議会参加
12. 事務局の構成
- 事務局長 萩原武士
 事務局員 渡辺征夫
 " 柵橋公子

議案 6. 2006 年度収支予算(案)

2006 年度収支予算(案)の特徴は以下の通りである。

- (1) 会員の減少に下げ止まり傾向が出てきたこともあり、収支としては 2005 年度予算とほぼ同じ規模とした。
- (2) 個々の科目については、気象研究ノート発刊の減少等による減収が予想されるため、事務局関連費等の管理費の縮減により収支の均衡を計った。

6-1 収支予算総括表

収支予算書総括表

2006年 4月 1日から2007年 3月31日まで

(社)日本気象学会

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【収入の部】				
会 費 収 入	35,950,000	35,950,000	0	
基 本 財 産 運 用	400,000	400,000	0	
事 業 収 入	44,330,000	29,950,000	14,380,000	
補 助 金 収 入	6,000,000	6,000,000	0	
引 当 預 金 取 崩 収 入	500,000	370,000	130,000	
雑 収 入	240,000	220,000	20,000	
当期収入合計(A)	87,420,000	72,890,000	14,530,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	13,552,091	7,214,251	6,337,840	
収入合計(B)	100,972,091	80,104,251	20,867,840	
【支出の部】				
事 業 費	61,730,000	54,910,000	6,820,000	
管 理 費	24,420,000	17,950,000	6,470,000	
引 当 金 繰 入	500,000	370,000	130,000	
法 人 税 等	70,000	0	70,000	
予 備 費	700,000	520,000	180,000	
当期支出合計(C)	87,420,000	73,750,000	13,670,000	
当期収支差額(A)-(C)	0	△ 860,000	860,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	13,552,091	6,354,251	7,197,840	

6-2 収支予算書

収支予算書

2006年4月1日から2007年3月31日まで

(社)日本気象学会
公益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
【収入の部】				
会 費 収 入	[35,950,000]	[35,490,000]	[460,000]	
通 常 会 員 会 費	7,900,000	6,360,000	1,540,000	
特 別 会 員 会 費	20,700,000	22,020,000	△ 1,320,000	
団 体 会 員 会 費	4,600,000	4,600,000	0	
賛 助 会 員 会 費	2,750,000	2,510,000	240,000	
基 本 財 産 運 用	[400,000]	[70,000]	[330,000]	
基 本 金	80,000	20,000	60,000	
藤 原 賞	20,000	2,000	18,000	
山 本 ・ 正 野 論 文 賞	50,000	16,000	34,000	
堀 内 賞	50,000	2,000	48,000	
国 際 交 流 基 金	200,000	30,000	170,000	
事 業 収 入	[29,950,000]	[28,850,000]	[1,100,000]	
天 氣 集 誌	1,450,000	1,030,000	420,000	
気 象 集 誌	10,130,000	12,160,000	△ 2,030,000	
S O L A	3,460,000	4,800,000	△ 1,340,000	
予 稿 集	6,400,000	6,020,000	380,000	
大 会 開 催	7,500,000	4,170,000	3,330,000	
教 育 と 普 及	970,000	640,000	330,000	
そ の 他 事 業 収 入	40,000	30,000	10,000	
補 助 金 収 入	[6,000,000]	[4,900,000]	[1,100,000]	
科 学 研 究 費	6,000,000	4,900,000	1,100,000	
寄 付 金 収 入	[0]	[30,000]	[△ 30,000]	
寄 付 金	0	30,000	△ 30,000	
引 当 預 金 取 崩 収 入	[370,000]	[0]	[370,000]	
退 職 引 当 預 金 取 崩 収 入	370,000	0	370,000	
雑 収 入	[220,000]	[242,000]	[△ 22,000]	
受 取 利 息	30,000	2,000	28,000	
著 作 権 複 写 許 可 料	180,000	100,000	80,000	
そ の 他	10,000	140,000	△ 130,000	
当期収入合計(A)	72,890,000	69,582,000	3,308,000	
前 期 繰 越 収 支 差 額	7,214,251	9,270,353	△ 2,056,102	
収入合計(B)	80,104,251	78,852,353	1,251,898	
【支出の部】				
事 業 費	[54,910,000]	[53,200,000]	[1,710,000]	
天 氣 集 誌	21,060,000	19,880,000	1,180,000	
気 象 集 誌	17,040,000	18,680,000	△ 1,640,000	
S O L A	3,340,000	4,800,000	△ 1,460,000	
予 稿 集	1,800,000	1,790,000	10,000	
大 会 開 催	7,860,000	4,500,000	3,360,000	
教 育 と 普 及	860,000	570,000	290,000	
表 彰 ・ 奨 励	1,560,000	1,120,000	440,000	
国 際 学 術 交 流	800,000	540,000	260,000	
そ の 他 委 員 会	500,000	360,000	140,000	
研 究 連 絡 会	60,000	410,000	△ 350,000	
そ の 他 事 業 費	30,000	550,000	△ 520,000	
管 理 費	[17,950,000]	[18,130,000]	[△ 180,000]	
人 件 費	9,510,000	9,240,000	270,000	
退 職 金	370,000	0	370,000	
事 務 局 関 連 経 費	3,600,000	3,315,000	285,000	
電 子 情 報	10,000	10,000	0	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
電 算 機 開 発 管 理 費	140,000	870,000	△	730,000
総 会 役 員 用 費	1,620,000	1,590,000		30,000
選 挙 費	0	188,000	△	188,000
支 部 交 付 金	2,380,000	2,557,000	△	177,000
租 税 公 課	320,000	360,000	△	40,000
引 当 金 繰 入	[370,000]	[800,000]	[△]	430,000
退 職 引 当 金	370,000	800,000	△	430,000
予 備 費	[520,000]	[170,000]	[350,000]
当期支出合計(C)	73,750,000	72,300,000		1,450,000
当期収支差額(A)-(C)	△ 860,000	△ 2,718,000		1,858,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,354,251	6,552,353	△	198,102

収 支 予 算 書

2006年 4月 1日から2007年 3月31日まで

(社)日本気象学会

収益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
【収入の部】				
事 業 収 入	[14,380,000]	[17,440,000]	[△]	3,060,000
天 気 集 気 誌	3,130,000	3,220,000	△	90,000
気 象 研 究 ノ 一 誌	1,340,000	2,090,000	△	750,000
予 稿 ノ 一 集	6,940,000	8,580,000	△	1,640,000
書 店 扱 い	420,000	500,000	△	80,000
引 当 預 金 取 崩 収 入	2,550,000	3,050,000	△	500,000
退 職 引 当 預 金 取 崩 収 入	[130,000]	[0]	[130,000]
雑 著 作 権 収 入	130,000	0		130,000
複 写 許 可 料	[20,000]	[20,000]	[0]
当期収入合計(A)	20,000	20,000		0
前 期 繰 越 収 支 差 額	14,530,000	17,460,000	△	2,930,000
収入合計(B)	6,337,840	4,757,195		1,580,645
	20,867,840	22,217,195	△	1,349,355
【支出の部】				
事 業 費	[6,820,000]	[7,360,000]	[△]	540,000
天 気 集 気 誌	1,450,000	1,400,000		50,000
気 象 研 究 ノ 一 誌	1,030,000	1,200,000	△	170,000
予 稿 ノ 一 集	4,320,000	4,740,000	△	420,000
管 理 費	20,000	20,000		0
人 件 費	[6,470,000]	[6,182,000]	[288,000]
退 職 引 当 預 金	3,170,000	3,080,000		90,000
事 務 局 関 連 経 費	130,000	0		130,000
電 算 機 開 発 管 理 費	1,200,000	1,105,000		95,000
総 会 役 員 用 費	10,000	3,000		7,000
選 挙 費	40,000	290,000	△	250,000
支 部 交 付 金	540,000	530,000		10,000
租 税 公 課	0	62,000	△	62,000
引 当 金 繰 入	1,200,000	852,000		348,000
退 職 引 当 金	180,000	260,000	△	80,000
法 人 税 等 費	[130,000]	[0]	[130,000]
予 備 費	130,000	0		130,000
当期支出合計(C)	[70,000]	[1,150,000]	[△]	1,080,000]
当期収支差額(A)-(C)	[180,000]	[50,000]	[130,000]
次期繰越収支差額(B)-(C)	13,670,000	14,742,000	△	1,072,000
	860,000	2,718,000	△	1,858,000
	7,197,840	7,475,195	△	277,355